

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[HTTP リダイレクション警告](#)

[HTTP リダイレクトの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

コンテンツ サービス スイッチ ( CSS ) 11000 では、以下の理由からステイッキ性を維持するために Hypertext Transfer Protocol ( HTTP ) リダイレクションを設定する必要があります。

- それが、Secure Socket Layer ( SSL ) プロトコルに対応するセッション パーシステンスの最も正確な形式である。
- SSL ステイッキには Internet Explorer 5.0 との再ネゴシエーション問題がある。
- 汎用ステイッキには、America Online ( AOL ) メガプロキシ問題がある。
- クッキー ステイッキは暗号化されたトラフィックまたはクッキーを拒否するブラウザでは動作しない。

HTTP リダイレクトには、以前からロード バランスされた環境でサーバのステイッキ性を維持するためのオプションがあります。 リダイレクトは非常に信頼性が高く、インターネットまたはイントラネットのクライアントがセッションの期間特定のサーバ上で留保されるように保証します。 CSS 11000 を使用すると、ネットワーク管理者は CSS 11000 に HTTP リダイレクトを送信させることができるため、Web サーバ管理者は HTTP リダイレクトに適応させるために Web サイトを再設計する必要がなくなります。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- WebNS Software 4.10 ビルド 10、WebNS Software 5.x または 6.x のいずれかを実行する CSS 11000
- WebNS Software 5.20 または 7.x を実行する CSS 11500

- Cisco Web Network Services ( WebNS ) Software Release 3.02 以降を実行するすべての CSS 11000 コンテント サービス スイッチ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## HTTP リダイレクション警告

HTTP リダイレクションには以下の問題が関連しています。

- ロード バランスされたサービスごとに一値のパブリック インターネット プロトコル ( IP ) アドレスが必要です。
- ある程度のドメイン ネーム サービス ( DNS ) の設定が必要です。これは、CSS 上で設定可能です。
- リダイレクト実行後のブックマーク問題があります。ユーザが Web サイトにブックマークを付けている場合、元のロード バランスされたページではなく、リダイレクト先のページにブックマークが付けられます。この問題は、メインのユニフォーム リソース ロケータ ( URL ) をバックアップとして使用することで解決できます。
- ドメイン名ごとに一意の SSL 証明書が必要です。これは、通常、サーバが同じドメイン名を持つかどうかに関係なく、ライセンス要件です。

CSS 11000 には制限があるため、リダイレクトは HTTP ( ポート 80 ) から HTTP へ、または HTTP から HTTPS ( ポート 443 ) へしか送信できません。Secure Hypertext Transfer Protocol ( HTTPS ) からリダイレクトを送信することが要件である場合は、Web サーバからリダイレクトを送信する必要があります。

サービスを "type redirect" として設定した場合、CSS 11000 がクライアントにリダイレクトを送信する場合に使用するリダイレクト スtring を指定できます。これを実現するためにリダイレクトを使用する利点の 1 つは、クライアントが新しい要求とともにクッキー データを送信する点です。

## HTTP リダイレクトの設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

HTTP リダイレクトを設定するには、各サーバにリダイレクト サービスが必要です。通常、リダイレクト サービスは、バックアップとして使用するためにメインのコンテンツ ルールにリダイレクトを戻します。

1. 使用する URL の DNS エントリを設定します。通常は、www、ww1、および ww2 です。任意のドメイン名を使用できます。この例では、以下の DNS A レコードが作成されます。この例は、2 つのサービスが定義済みであることを前提としています。
2. ユーザを www.cisco.com へリダイレクトするリダイレクト サービスを作成します。このリダイレクトは、ユーザがサービス内に存在しない URL にブックマークを付けている場合に

は、バックアップとして機能します。

3. 各サービスに個別にリダイレクトを作成します。代替として、ドメイン `https://ww1.cisco.com` などのリダイレクト スtringを入力して、直接 HTTPS へリダイレクトさせることもできます。これは、通常、排他的に HTTPS を使用している Web サイトで実行されます。注コマンド `no prepend-http` は、HTTPS などの他のプロトコルへのリダイレクトを有効にします。 `no prepend-http` コマンドを使用しない場合、リダイレクト先は `HTTP://<domain string>` になります。
4. 以下のコンテンツ ルールを作成します。注 リダイレクト サービスは、ブックマーク問題を解決するために `ww1_rule` と `ww2_rule` に追加されます。ユーザが `ww1` または `ww2` ルールにブックマークを付けており、そのユーザが戻ったときにサービスがアクティブでなかった場合、ユーザはメイン ルールにリダイレクトされ、再度ロード バランスされます。CSS 11000 は、"type redirect" サービスを選択する前に、常に要求をローカル サーバへ送信します。

以下のコンフィギュレーションは、ステイキ性を維持するために使用された HTTP リダイレクトを持つ CSS 11000 からの出力例です。

### CSS 11150 ( WebNS 4.10、ビルド 10 )

```
CSS150# show run!Generated on 06/22/2001 08:18:02!Active
version: ap0410010configure!*****
GLOBAL *****!--- The DNS
configuration below is just an example on !--- how to
use the CSS to answer DNS requests. dns-record a
ww1.cisco.com 200.200.200.201 50 single kal-none dns-
record a ww2.cisco.com 200.200.200.202 50 single kal-
none dns-record a www.cisco.com 200.200.200.200 50
single kal-icmp 200.200.200.200 254 sticky-disabled dns-
server zone 1 tier1 "cisco.com" dns-server ip route
0.0.0.0 0.0.0.0 200.200.200.1 1
!***** INTERFACE
*****interface e1 bridge vlan 2
!***** CIRCUIT
*****circuit VLAN1 ip address
200.200.200.254 255.255.255.0 circuit VLAN2 ip address
10.0.0.254 255.255.255.0 !*****
SERVICE *****service ww1 ip address
10.0.0.11 keepalive type tcp keepalive port 80 active
service ww1-redirect ip address 10.0.0.11 keepalive type
tcp keepalive port 80 type redirect no prepend-http
domain http://ww1.cisco.com/ activeservice ww2 ip
address 10.0.0.12 keepalive type tcp keepalive port 80
active service ww2-redirect ip address 10.0.0.12
keepalive type tcp keepalive port 80 type redirect no
prepend-http domain http://ww2.cisco.com/ activeservice
www-redirect ip address 2.2.2.2 keepalive type none type
redirect no prepend-http domain http://www.cisco.com
active !***** OWNER
*****owner cisco.com content
main_rule vip address 200.200.200.200 protocol tcp port
80 url "/*" add service ww1-redirect add service ww2-
redirect active content ww1_rule VIP address
200.200.200.201 protocol tcp port 80 url "/*" add
service ww1 www-redirect active content ww1_rule_443 VIP
address 200.200.200.201 protocol tcp port 443 add
service ww1 !--- For HTTPS traffic, it is not possible
to return a !--- redirect response because the traffic
is encrypted. !--- Do not add the redirect service.
active content ww2_rule VIP address 200.200.200.202
protocol tcp port 80 url "/*" add service ww2 www-
```

```
redirect active content ww2_rule_443 VIP address  
200.200.200.202 protocol tcp port 443 add service ww2  
active CSS150#
```

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [CSS 11000 シリーズのハードウェア サポート](#)
- [CSS 11500 シリーズハードウェア サポート](#)
- [Cisco WebNS CSS11000 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [Cisco WebNS CSS11500 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [Web Network Services のソフトウェア サポート](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)